

校内研修

味わおう 書く楽しさ 伝える喜び

目指す児童像（校訓）

じょうぶな子ども（健康）
すすんで学ぶ子ども（自律）
助けあう子ども（協和）
はたらく子ども（勤労）

目指す学校像

明るいあいさつのあふれる学校
楽しく学習できる学校
美しい学校

菅谷小の教育目標

生命を大切にする人間尊重の精神を基盤として、児童一人一人を生かす教育を推進し、たくましく生きることのできる心身共に健やかで、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

目指す教師像

指導力があり、信頼される教師
子ども思いの人間性豊かな教師
やる気と情熱に満ちた教師

学校評価・教員評価 ↔ 学力調査・校内研修

研究主題

自ら考え、豊かに表現することができる児童の育成
～考え、伝える力を育てる話し合い活動の工夫～

主題設定の理由

- ① 国際化・個性化が進む現在の日本社会において、論理的思考力・表現力を、児童に身に付けさせることが必要とされている。（社会の要請）
- ② 平成20年版『学習指導要領』では、各教科における「児童の言語活動の充実」が掲げられている。そこで、国語科の帰納論理の構成をもつ小論文指導で育成した論理的思考力・表現力を他教科でも活用することで学力全体の向上を図る。今年度は、算数科において数学的な考え方や表現する力を養うと共に、話し合い活動など言語活動の充実によって思考力・表現力の向上を図る。（学校教育）
- ③ 継続して論理的文章の書き方を指導することで、書くことに意欲的に取り組む児童が増えてきた。更に、自分の考えを文章などでまとめたり、友達の考えを聞きながら考えを深めたり、自分の考えや分かったことを発表したりすることで分かりやすく論理的に表現する力を育てたい。（児童の実態）